

岡山県環境保健センター

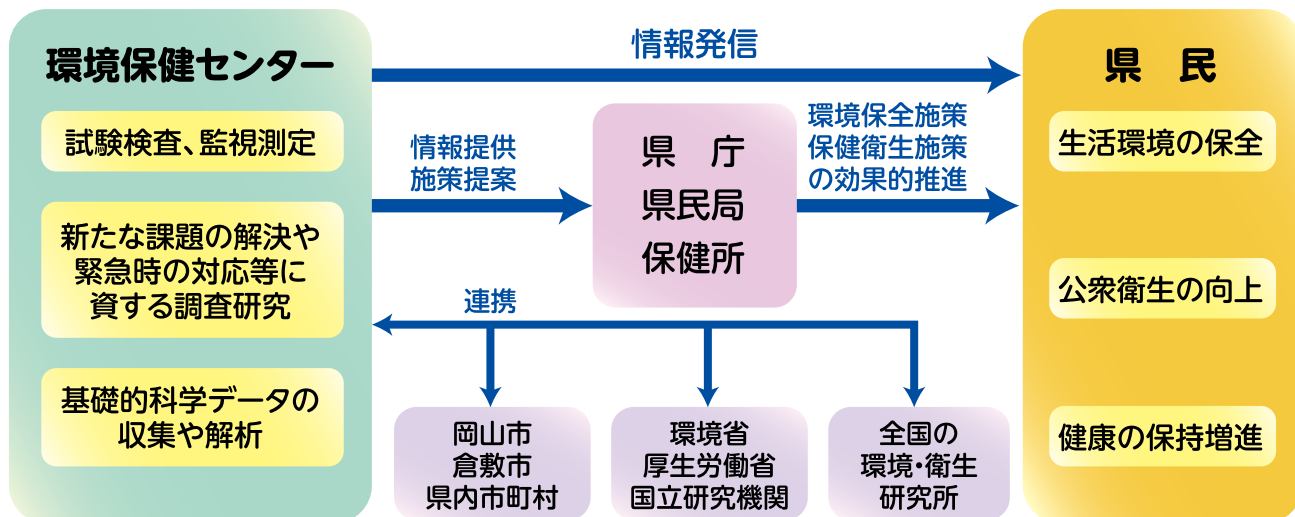
Okayama Prefectural Institute
for Environmental Science and Public Health



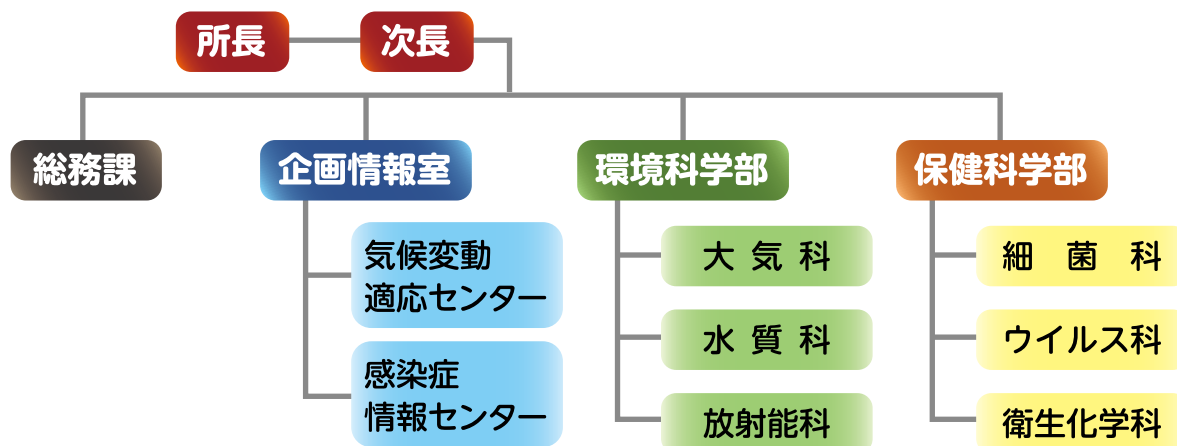
はじめに

当センターは、1976（昭和51）年に旧公害防止センターと旧衛生研究所を発展的に統合して設置された、環境保全・保健衛生行政を科学的・技術的側面から支える総合的な試験研究機関です。

施策の効果的な推進、生活環境の保全、公衆衛生の向上及び健康の保持増進を図るため、関係行政機関との連携のもとに、試験検査や監視測定に加え、新たな課題の解決や緊急時の迅速で的確な対応等に資する調査研究、施策の基本となる基礎的データの収集や解析、情報発信等を行っています。



組織体制



業務概要

大気科

県内の大気環境を常時監視し、大気汚染による人への健康被害が発生するおそれがある場合、大気汚染情報などを発令して県民の皆さんに注意を促しています。

また、工場等の排出ガスの検査や環境中の有害大気汚染物質の測定を行っています。



◆大気環境の常時監視

水質科

工場等の排水をはじめとする、河川、湖沼、地下水などの水質や土壌を検査しています。

また、魚のへい死などの水質汚濁事象や廃棄物の不法投棄などが発生した場合には、原因究明や周辺環境への影響調査のための緊急検査を行っています。



◆工場排水の水質検査

放射能科

鏡野町にある国立研究開発法人日本原子力研究開発機構人形峠環境技術センター周辺の生活環境を保全するため、大気や水質、土壌、植物などに含まれるウランなどの放射性物質を監視測定しています。

また、原子力規制庁からの委託による環境放射能水準調査などを行っています。



◆放射性物質の分析

細菌科

感染症の発生動向を調査するため、腸管出血性大腸菌感染症や結核、レジオネラ症などの病原細菌を検査しています。

また、細菌による食中毒や、貝毒などの有毒プランクトンによる自然毒に関する検査も行っています。



◆細菌の培養検査

ウイルス科

感染症の発生動向を調査するため、新型コロナウイルス感染症、インフルエンザなどの病原ウイルスや日本紅斑熱リケッチア（細菌の一種）などを検査しています。

また、ウイルスによる食中毒や、HIVに関する検査も行っています。



◆ウイルスの検査

衛生化学科

食品中に残留している農薬などの有害化学物質の検査や、アレルギー物質及び遺伝子組み換え作物の混入についての表示が正しいかどうかを検査しています。

また、有毒植物などによる食中毒や医薬品に関する検査も行っています。



◆残留農薬の検査

気候変動適応センター／感染症情報センター

気候変動適応センターは、地球温暖化に伴う気候変動の影響や適応（社会や生活の在り方を変えて気候変動の影響に備えること）に関する情報収集、技術的助言等を行っています。（県環境文化部環境企画課新エネルギー・温暖化対策室と共同設置）

感染症情報センターは、感染症の予防とまん延防止の対策のため、県の基幹センターとして感染症の発生動向に関する調査・分析を行うとともに、結果については週報・月報として県民の皆さんや医療関係者に迅速に提供・公開しています。

これら2つのセンターは、企画情報室内に設置しています。



岡山県気候変動適応センター
<https://www.pref.okayama.jp/site/732/>



岡山県感染症情報センター
<https://www.pref.okayama.jp/soshiki/309/>

